

「新しい波」の先端を走り続けた映画界の巨星

ゴダール監督追悼特番

『ザ・シネマメンバーズ presents TOKYO FM 特別番組
after the requiem

～ゴダールについて私が知っている二、三の事柄』

2022年12月25日(日) 26:00～27:30

TOKYO FMでは、12月25日(日)の26時00分～27時30分に、『ザ・シネマメンバーズ presents TOKYO FM特別番組 after the requiem～ゴダールについて私が知っている二、三の事柄』を放送します。こちらの番組は、2022年9月13日にこの世を去った、映画監督ジャン＝リュック・ゴダールの追悼特番です。ゴダールを知る迷宮の旅のトラベラーとして、ジャズ・ミュージシャンの菊地成孔と東京藝術大学大学院在学中の画家・友沢こたおが出演。また、菊池成孔が浅田彰(批評家・京都芸術大学教授)、村井邦彦(作曲家・アルファレコード創業者)、五所純子(文筆家)と対談するほか、宇川直宏(映像作家)ら、各界を代表するゴダールに魅了されたクリエイターたちが、ゴダールの魅力やゴダールから受けた影響を今後自身の作品や人生にどう反映していくかについて語ります。ゴダールを知る人も知らない人も楽しめる特別番組となっています。どうぞお楽しみに！



(左:菊池成孔、右:友沢こたお)

映画『勝手にしやがれ』や『気狂いピエロ』で知られる映画監督ジャン＝リュック・ゴダールが、2022年9月13日に、自殺幫助でこの世を去りました。作品のほぼ全てが『映画を批評する「映画」』になっているゴダールは、20世紀で最も重要な映画作家のひとりと呼ばれています。ゴダールは、映画という虚構を通して私たちの現実は何をメッセージしていたのでしょうか。ゴダールが遺した表現とは一体何だったのか？今も有効なのか？こちらの追悼特番で探ります。

『ユングのサウンドトラック』など、これまでゴダール論を書籍で披露してきたジャズ・ミュージシャンの菊池成孔が、浅田彰(批評家・京都芸術大学教授)、村井邦彦(作曲家・アルファレコード創業者)、五所純子(文筆家)と対談をするほか、宇川直宏(映像作家)、鈴木慶一(ミュージシャン)、佐々木敦(思想家・文筆家)など各界の

2022 年 12 月 16 日

クリエイターたちによるコメント…ゴダールの魅力やゴダールから受けた影響を今後自身の作品や人生にどう反映していくか？を散りばめて進めていきます。

また、ゴダールと同じフランスの出身で現在、東京藝術大学大学院在学中の画家・友沢こたおがゴダールを知る迷宮の旅のトラベラーとして、東京の街のさまざまな場所でゴダールの追悼文や映画のセリフ、記事などをつぶやいていきます。今年の 11 月に行われたゴダールに捧げたライブ「菊地成孔とペペ・トルメント・アスカラル、京都 KBS ホール公演～ジャン・リュック・ゴダールに捧ぐ～」の音源もラジオ初オンエア。ゴダールを知る人も知らない人も楽しめる特別番組となっています。ザ・シネマメンバーズで配信中のゴダール関連作品と合わせてどうぞお楽しみに！

また、TOKYO FM 公式 Twitter アカウントをフォロー＆リツイートしてくれた方の中から抽選で 10 名様にザ・シネマメンバーズ特製オリジナルキャップをプレゼント致します。(応募は、12 月 31 日(土)23:59 まで)

【番組概要】

- ◆タイトル:『ザ・シネマメンバーズ presents TOKYO FM 特別番組
after the requiem～ゴダールについて私が知っている二、三の事柄』
- ◆放送局 : TOKYO FM
- ◆放送日時: 2022 年 12 月 25 日 (日) 26:00～27:30
- ◆出演 : 菊地成孔、友沢こたお
(コメントゲスト) 浅田彰、佐々木敦、五所純子、堀潤之、村井邦彦、鈴木慶一、A.K.I.PRODUCTIONS、大久保潤 (ele-king)、宇川直宏、前田健雄 (キネマ旬報)、明石健五 (週刊読書人)、尾崎まゆみ、ピケブノワ (agnès b.)、岡村忠征 (映画館 Stranger 代表) など
- ◆番組 Twitter: @JLGSP_TFM (https://twitter.com/JLGSP_TFM)
- ◆提供: 株式会社ザ・シネマ

参考) 動画配信ストリーミングサービス「ザ・シネマメンバーズ」

洋画専門チャンネル ザ・シネマが手掛ける、ミニシアターに特化した動画配信ストリーミングサービス「ザ・シネマメンバーズ」(<https://members.thecinema.jp/>)

月額 880 円 (税込) では、ジャン＝リュック・ゴダール監督作を 60 年代/80 年代の対比で楽しむ特集をラインナップ。エリック・ロメール、ジャック・リヴェット、シャンタル・アケルマンの作品群も配信中。



ザ・シネマメンバーズで配信中のゴダール作品 (『女は女である』『女と男のいる舗道』『はなればなれに』『恋人のいる時間』『中国女』『ウイークエンド』『勝手に逃げろ/人生』『パッション』『右側に気をつけろ』)